

2021年2月9日

各位

日本マクドナルドホールディングス株式会社
 代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO） サラ L. カサノバ
 （コード番号：2702 JASDAQ）
 問い合わせ先 執行役員 IR統括責任者 中澤 啓二
 TEL 03-6911-6000

2020年12月期通期連結決算状況及び2021年12月期連結業績予想について

日本マクドナルドホールディングス株式会社の2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の通期連結業績について下記の通りご報告致します。

ハイライト

- 全店売上高は5,892億円となり、創業以来の最高売上となる
- 営業利益は+11.7%、経常利益は+14.3%、当期純利益は+19.6%の増益を達成
- 2018年から2020年の中期財務目標を達成
- 2021年度も積極的な投資を継続し着実な成長を目指す

1. 2020年12月期通期連結決算状況

(単位：百万円)

	2020年通期			
	実績	前年実績	前年比	前年比(%)
全店売上高*	589,228	549,059	+40,169	+7.3%
連結売上高	288,332	281,763	+6,568	+2.3%
連結営業利益	31,290	28,018	+3,271	+11.7%
連結経常利益	31,425	27,487	+3,937	+14.3%
親会社株主に帰属する連結当期純利益	20,186	16,885	+3,301	+19.6%

*全店売上高：直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高

	2020年通期 前年比(%)
既存店売上高	+6.8%
既存店客数	Δ8.5%
既存店客単価	+16.7%

2020年度は、新型コロナウイルスの流行によりお客様の行動やニーズが大きく変わる中、感染拡大防止に取り組みつつ、お客様に温かいお食事をご提供するという社会的役割を果たし、おいしさと笑顔を地域の皆さまにお届けする努力を続けてまいりました。

また、これまでに構築した成長のための経営基盤への継続的投資と、①メニュー、バリュー、ファミリーからなる「コアビジネスの強化」、②デリバリー、デジタル、未来型店舗体といった「成長を加速する取り組み」、③「店舗展開」の3つの分野へ戦略的に投資を行いました。これらの取り組みが相乗効果を発揮した結果、全店売上高は対前年比401億円、7.3%増加の5,892億円となり昨年に引き続き創業来最高を更新いたしました。

営業利益は前年比32億円、11.7%増加の312億円、経常利益は前年比39億円、14.3%増加の

314 億円、当期純利益は、前年比 33 億円、19.6%増加の 201 億円となりました。
その結果 2018 年から 2020 年の中期財務目標を達成することができました。

2. 2021 年 12 月期 連結業績予想

日本マクドナルドは 2021 年で創業 50 周年を迎えます。引き続きビジネスの基盤である安全・安心の分野を徹底しながら、「ピープル」「メニューとバリュー」「店舗展開」「デジタル」「デリバリー」「ドライブスルー」に注力し、お客様の店舗体験と満足度の向上を目指します。また、年間を通じて「Big Smile」をテーマに、お客様にマクドナルドらしい FUN を感じていただける様々な活動を行ってまいります。そして、今後も地域社会に貢献し、皆様に愛されるブランドとなるよう努めてまいります。

全店売上高は創業来最高となった 2020 年を上回る 6,130 億円、連結売上高は 2,995 億円、連結営業利益は 320 億円、当期純利益は 204 億円を目指してまいります。

(単位：百万円)

	2021 年通期	
	業績予想	対前年比
全店売上高	613,000	+4.0%
連結売上高	299,500	+3.9%
連結営業利益	32,000	+2.3%
連結経常利益	31,500	+0.2%
親会社株主に帰属する連結当期純利益	20,400	+1.1%

以上

※この資料は兜倶楽部、東京商工会議所記者クラブ、外食産業記者会に配布しております。